

🔥 会社の電話コストを削減したい、もっと便利に使いたい！

◆ データ系と電話系のネットワークを統合できないか。

◆ 社内からも社外からも同じ番号で通話したい。

◆ 会社で携帯電話を貸与している。

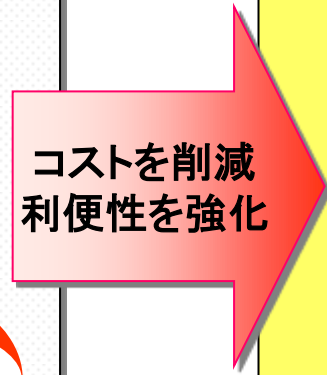
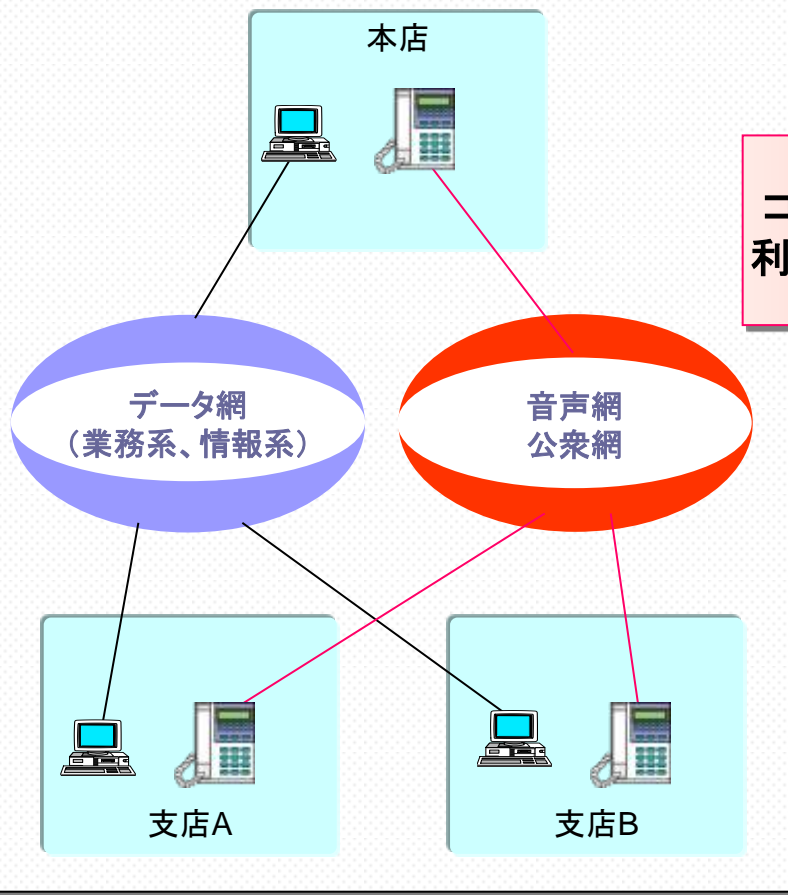
◆ 社員が個人の携帯を業務で使っている。

IP電話を導入して一挙に解決しませんか

🔥 IP電話を導入しデータ系と音声系ネットワークを統合運用

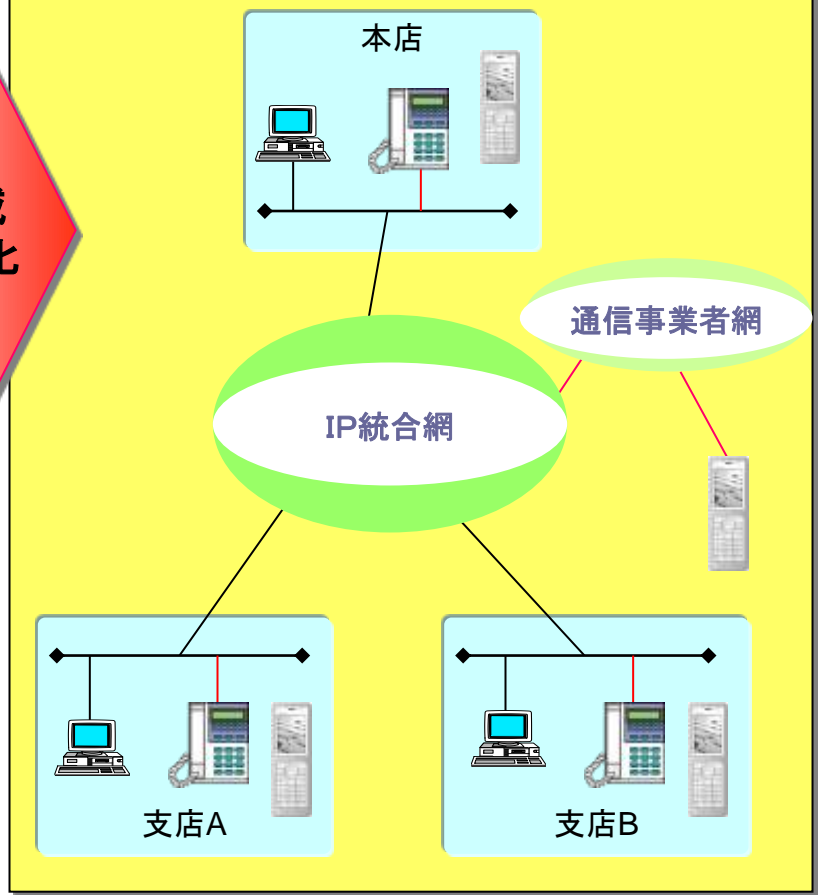
◆ 現在の利用形態

- データ系、音声系の網を個別に運用している
- 内線通話と外線通話で通話している
- 個別に携帯電話を使用している



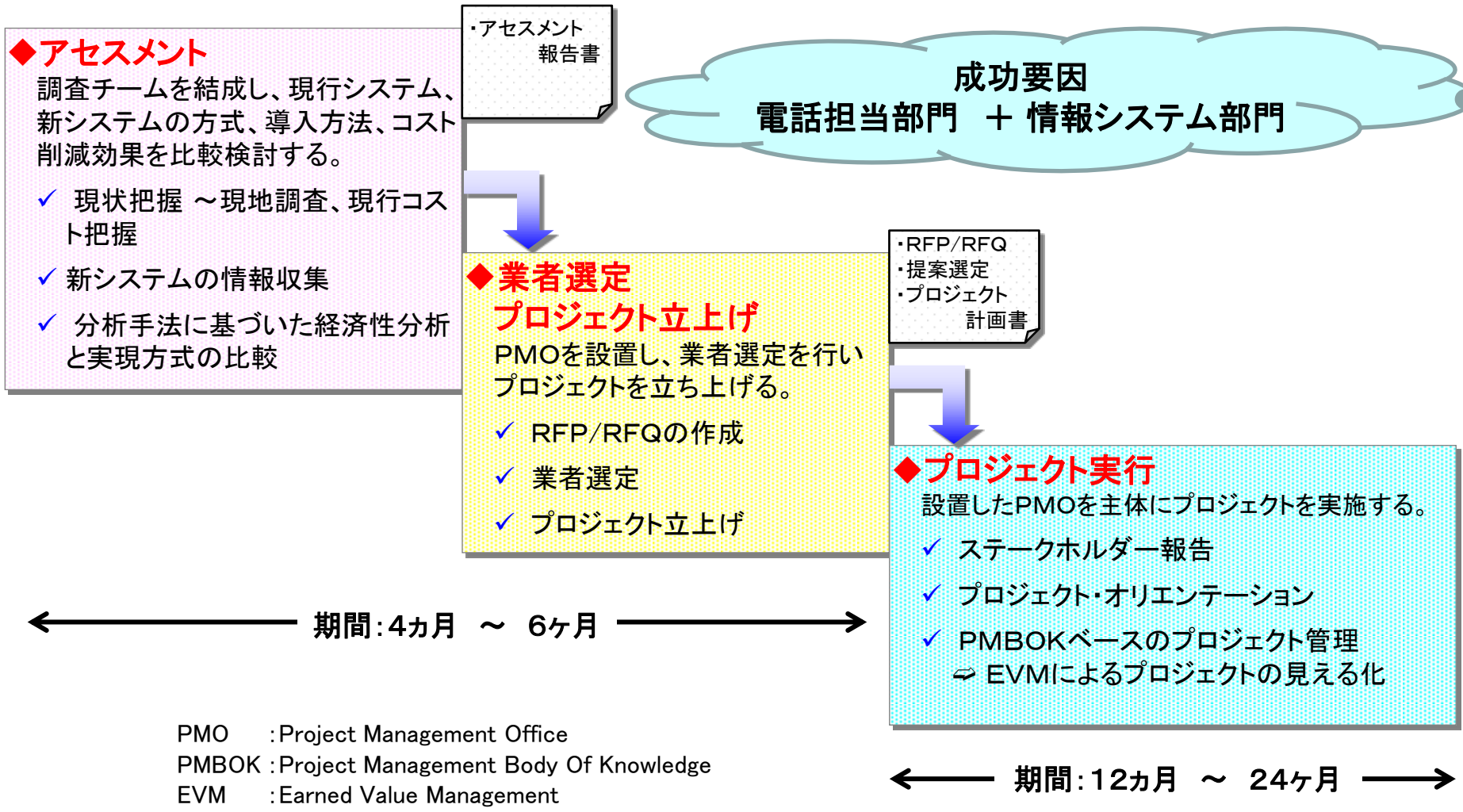
◆ IP電話化後の利用形態

- 網の統合運用(データ、音声)
- 内線ワンナンバー(携帯、PHS) 社内、社外で内線通話
- BYODを活用したい



🔥 メーカー、通信事業者にとらわれず、客観的に評価したい

特定の通信機メーカー、通信事業者にとらわれないアセスメントチーム(専門家集団)を結成し、客観的データを収集し客観的に評価を行う必要があります。



PMO : Project Management Office
PMBOK : Project Management Body Of Knowledge
EVM : Earned Value Management

🔥 プロジェクトを成功させるためには

成功要因	説明
◆ 部門間の 協調と協業	◆ IP電話とIPネットワーク(情報システム)の統合で、 電話担当部門と情報システム部門の協調と協業が不可欠 ⇒ とすれば過去否定(電話)となり、往々にして両者が対立
◆ 既存システム情報、 新システム情報 の収集	◆ 客観データの収集と収集したデータを正規化 ⇒ メーカー、通信事業者から独立した専門チームにより実施 ⇒ メーカー、通信事業者の客観的比較と経済性分析
◆ ライフサイクル コストのアプローチ	◆ 電話設備の構築、切替え、運用・保守を含めた期間のTCO ⇒ 投資案件でなくフロー案件(設備を入替え月間コストを圧縮)
◆ 期日通りに サービス開始	◆ コスト効果を楽しむためには、予定通りIP電話に切替えること。 ⇒ PMBOKベースのプロジェクト運営と見える化を実現

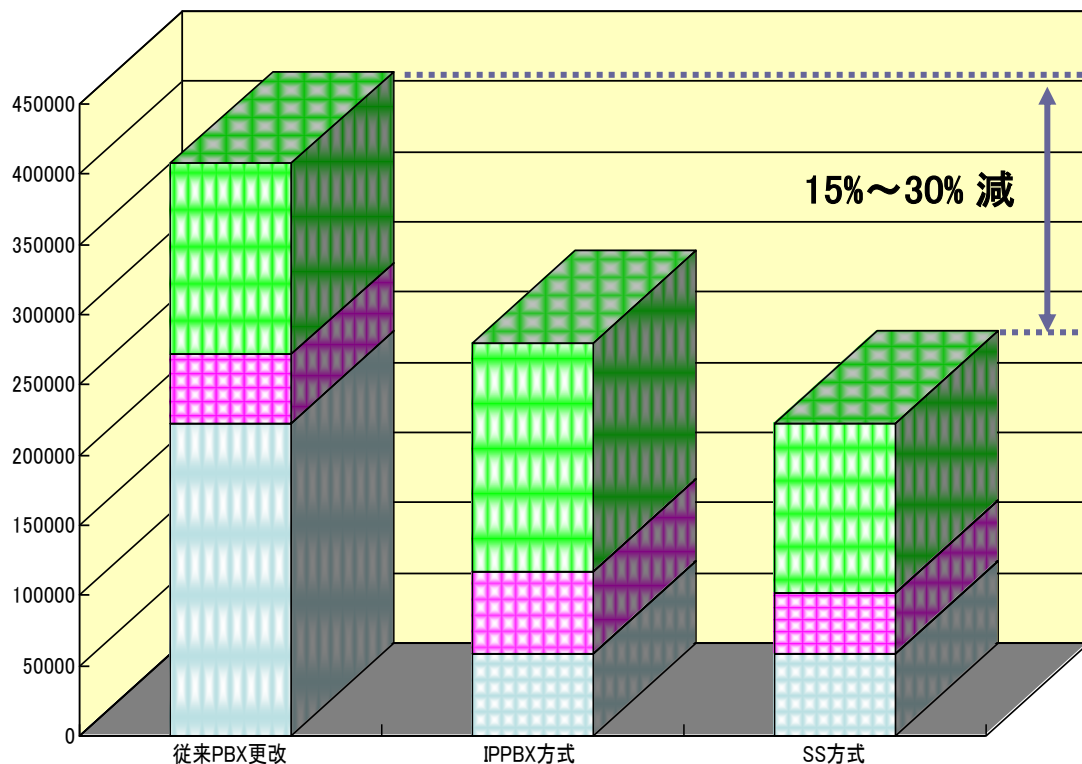
【アセスメント例】

✓ コスト削減の期待値

2000人以上の規模で15%~30%の削減効果との報告

✓ 期日どおりの導入

PMBOKに基づくプロジェクト計画とEVMによる見える化により、正確なプロジェクト管理を行い期日どおりにカットオーバー



□ 通信コスト □ ランニングコスト ■ イニシャルコスト

【シミュレーションサンプル】

➤ 5年間総コストでの比較。

- ・ 既存電話
 - 回線費用
 - 通話料金
 - 設備保守・更改費用
- ・ IP電話
 - イニシャルコスト
(初期構築)
 - ランニングコスト
(運用・保守)
 - 通信コスト
(通話、回線)

➤ **ストックモデル(投資)ではなく、フローモデル(月間経費の削減)**

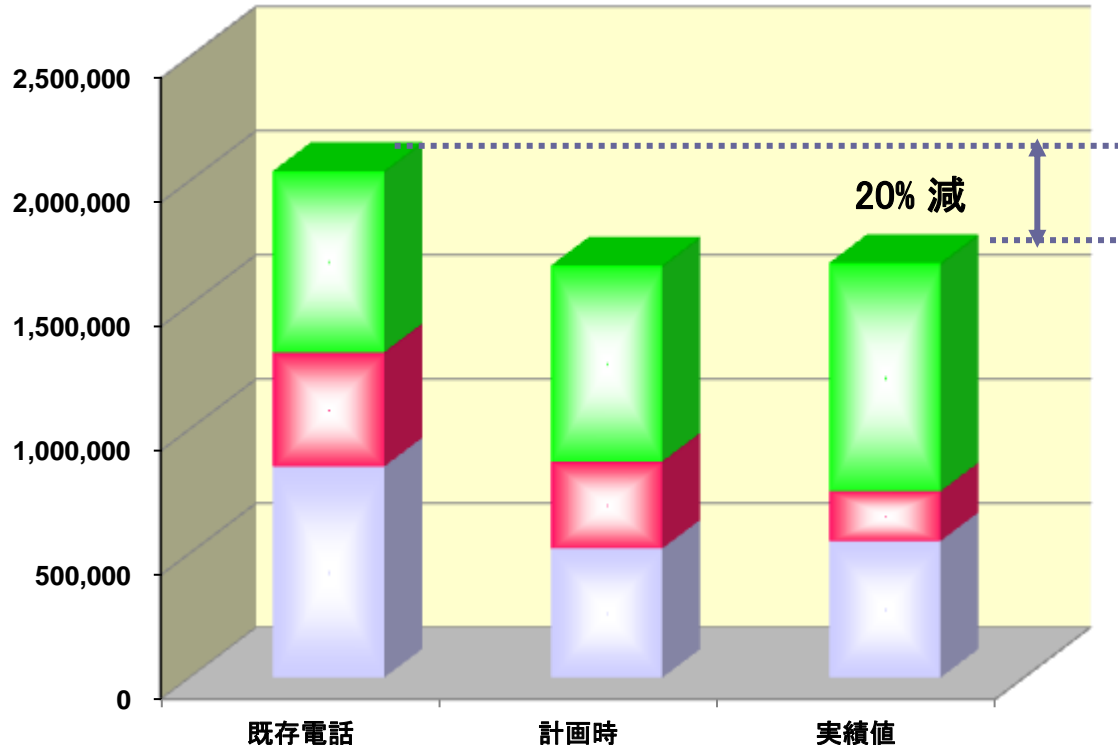
【導入例】

✓ 精度の高いコスト削減の期待値

下図の導入事例で、既存システムとIP電話の計画値及び実績値の比較。
5000人規模で20%の削減効果。

✓ 期日どおりに導入

PMBOKに基づくプロジェクト計画とEVMによる進捗管理により、正確なプロジェクト管理ができ期日どおりのカットオーバーを実現。



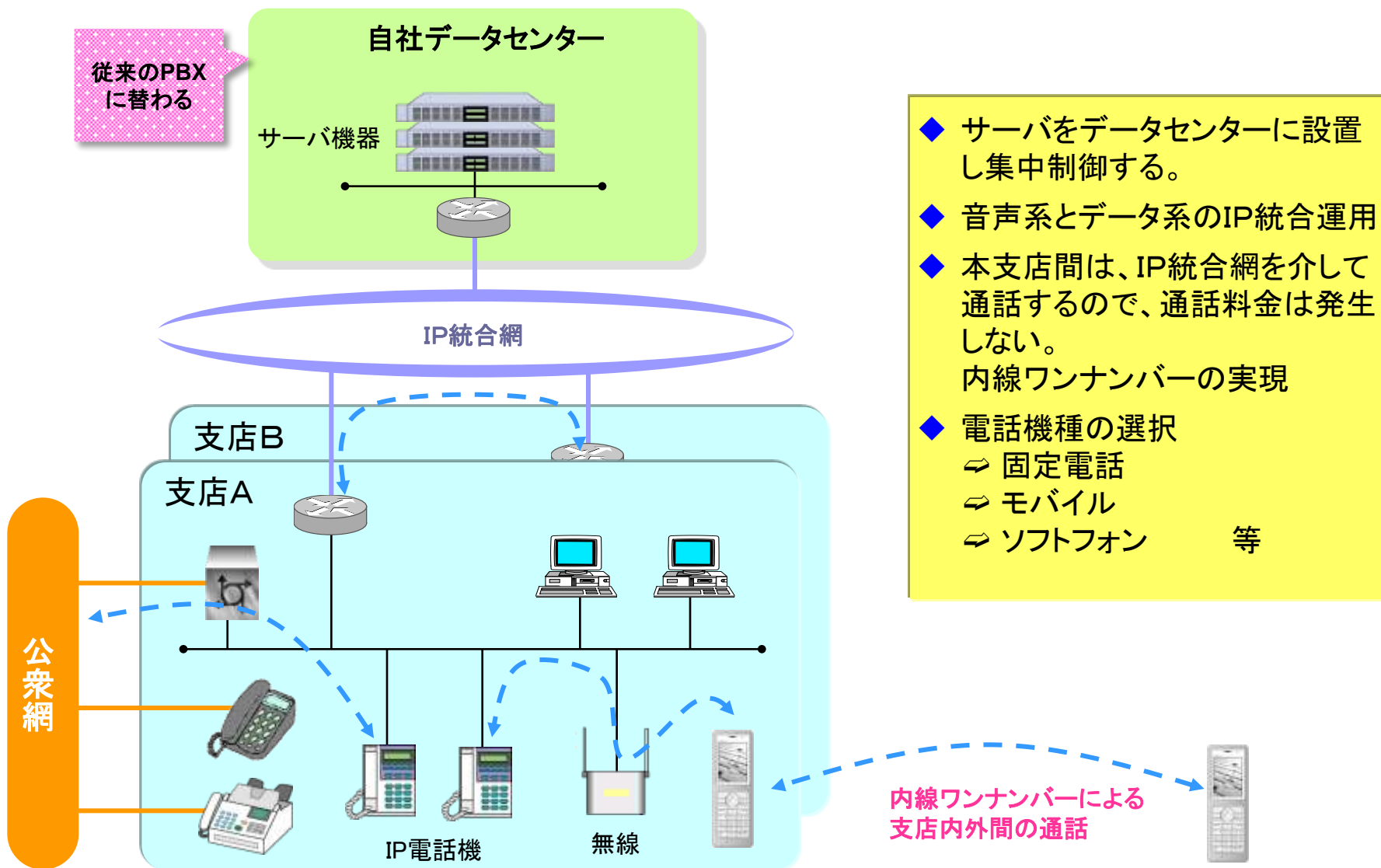
【事例】

➤ 6年間総コストを比較

- ・ 既存電話 回線費用
通話料金
設備保守費用
- ・ IP電話
 - インシヤルコスト (初期構築)
 - ランニングコスト (運用・保守) (ヘルプデスク)
 - 通信コスト (通話、回線)

➤ 金融機関など、通話録音等その他の音声システムを同時に巻き取ることにより、より高い削減効果が考えられる

【導入システムイメージ】



- ◆ サーバをデータセンターに設置し集中制御する。
- ◆ 音声系とデータ系のIP統合運用
- ◆ 本支店間は、IP統合網を介して通話するので、通話料金は発生しない。
内線ワンナンバーの実現
- ◆ 電話機種を選択
 - ⇒ 固定電話
 - ⇒ モバイル
 - ⇒ ソフトフォン等